

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（論理的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

(杉野俊子 (2017). 「言語的観点から日本のサステナビリティを考える—「母語+第一・第二外国語+豊かな人間性」の言語教育」『グローバル化と言語政策—サステナブルな共生社会・言語教育の構築に向けて』明石書店, 101~104 ページ, 抜粋・一部改変, 文中の引用文献や参考文献は省略)

注

1) 2016年6月23日に英国の欧州連合の離脱の是非を問う国民投票が行われ、離脱支持派が4%の僅差で残留支持派を破り、1973年の加盟から43年目の離脱が決まった。

問1 筆者の主張を要約し、200字以上300字以内で述べよ。

問2 ドイツにおける多言語・多文化主義および移民・難民問題の具体例を挙げ、それにより生じる課題とその解決策について、あなたの意見を含めて700字以上900字以内で述べよ。

令和8年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

出題の意図

この小論文の出題の意図は、現代社会の様々な問題点と課題点について、受験生なりにグローバルな視点、とりわけドイツにおける文化的、社会的背景を知識として持ち合わせているかを、ドイツにおける多言語主義、多文化主義社会に関する問題文の理解度を通して測ることにある。

また、SDGsが進められる世界の中で、世界の大きな流れである「グローバリゼーション」が単なる「世界が一つになること」という理解に留まらないような関心を持っているか、受験生のこれまでの社会生活の中で他国や他の地域について興味・関心を持っているか、大雑把にでも良いので遠く離れたEU（ドイツ）で何が起きているのかを観察しているかということ、高校などの授業や新聞等の記事で得た知識の定着度を測るものである。

この問題は、アドミッション・ポリシーである「21世紀型市民として必要な学際的教養を身につける意欲」を持ち、「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心を持ち」、主体性をもって課題に取り組む態度や能力を備えているかを問うものである。